



令和8年1月28日14時00分
近畿地方整備局
奈良国道事務所
近畿道路メンテナンスセンター
河合町

橋梁点検新技術のデモンストレーションを行います

～2月9日 奈良県の管理する御幸大橋で開催～

- 奈良県道路メンテナンス会議・近畿道路メンテナンスセンターでは、河合町と共同で河合町長や河合町職員等の参加による新技術を活用した橋梁点検のデモを実施します。
- 今回、活用する新技術は「赤外線調査トータルサポートシステム Jシステム Evolution」と「ドローンを活用した橋梁点検技術(ELIOS3)」の2技術です。

1. 開催日時：令和8年2月9日(月) 10時30分～12時00分
2. 開催場所：「御幸大橋」(奈良県北葛城郡河合町泉台)【別添1】
3. 参加者：河合町長、河合町職員、奈良県内自治体職員等、近畿地方整備局職員
4. 内容：新技術の概要説明と、奈良県が管理する橋梁において新技術を用いた点検のデモンストレーションを行い、道路管理者の技術力向上を図り、新技術の活用を推進します。【別添2～4】
5. その他：取材を希望される報道関係の方におかれましては、【別添5】の取材申込書に記入していただき、電子メールまたはFAXにて2月3日(火)12:00までに申込みをお願いいたします。
なお、報道関係の方は、当日会場にて10:00より受付を行います。
また、取材につきましては、【別添2】スケジュールの第1部までとさせていただきますので、あらかじめご了承願います。

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、奈良県政・経済記者クラブ

<問合せ先>

①開催内容に関する問合せ先

国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所 TEL (0742) 33-1394

副所長 山田 真一 (やまだ しんいち)

管理第二課長 田中 元洋 (たなか もとひろ)

河合町 まちづくり推進部 建設課 TEL (0745) 57-0200

課長 吉田 和彦 (よしだ かずひこ)

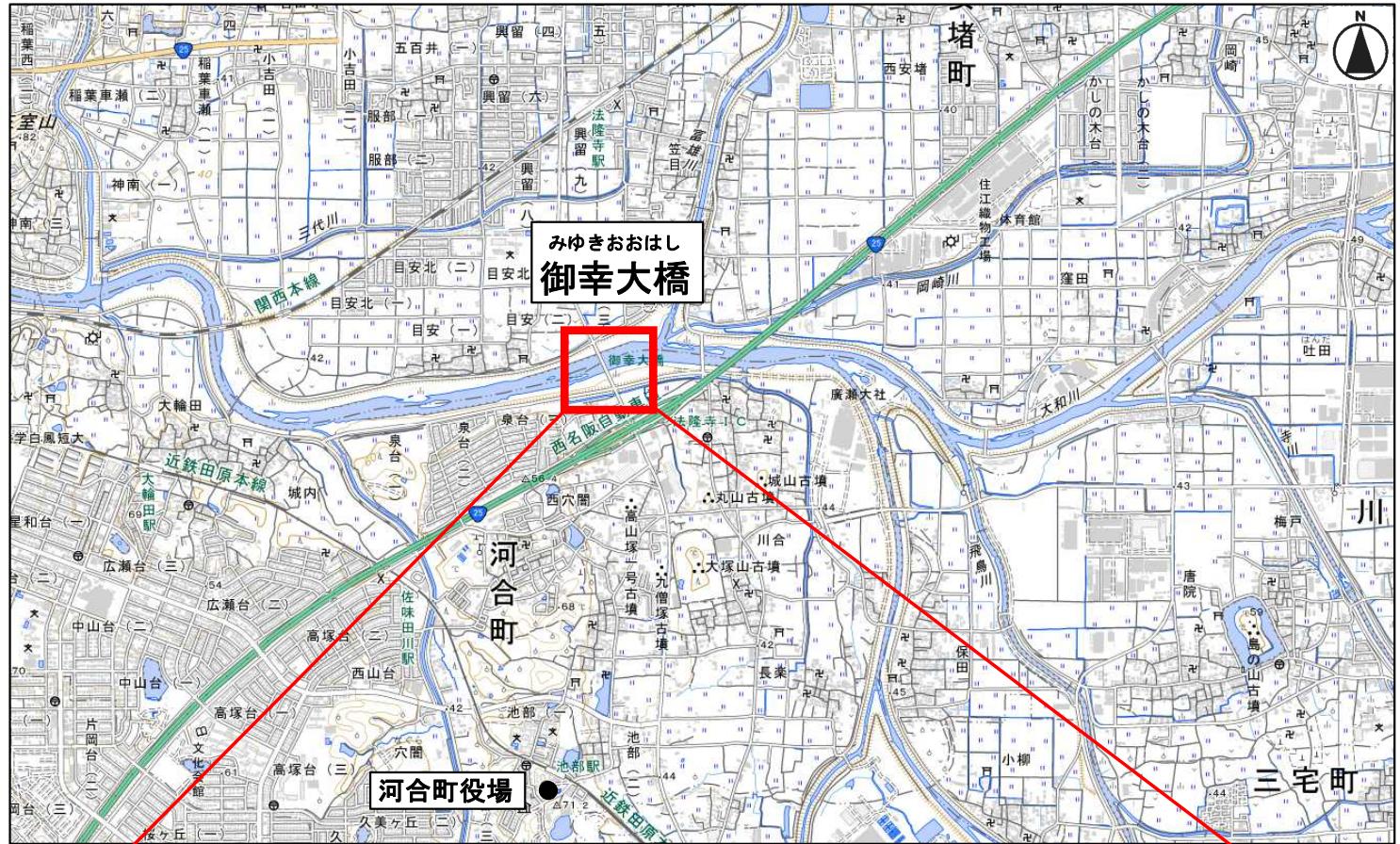
②新技術に関する問合せ先

国土交通省 近畿地方整備局 近畿道路メンテナンスセンター TEL (072) 800-6222 (代)

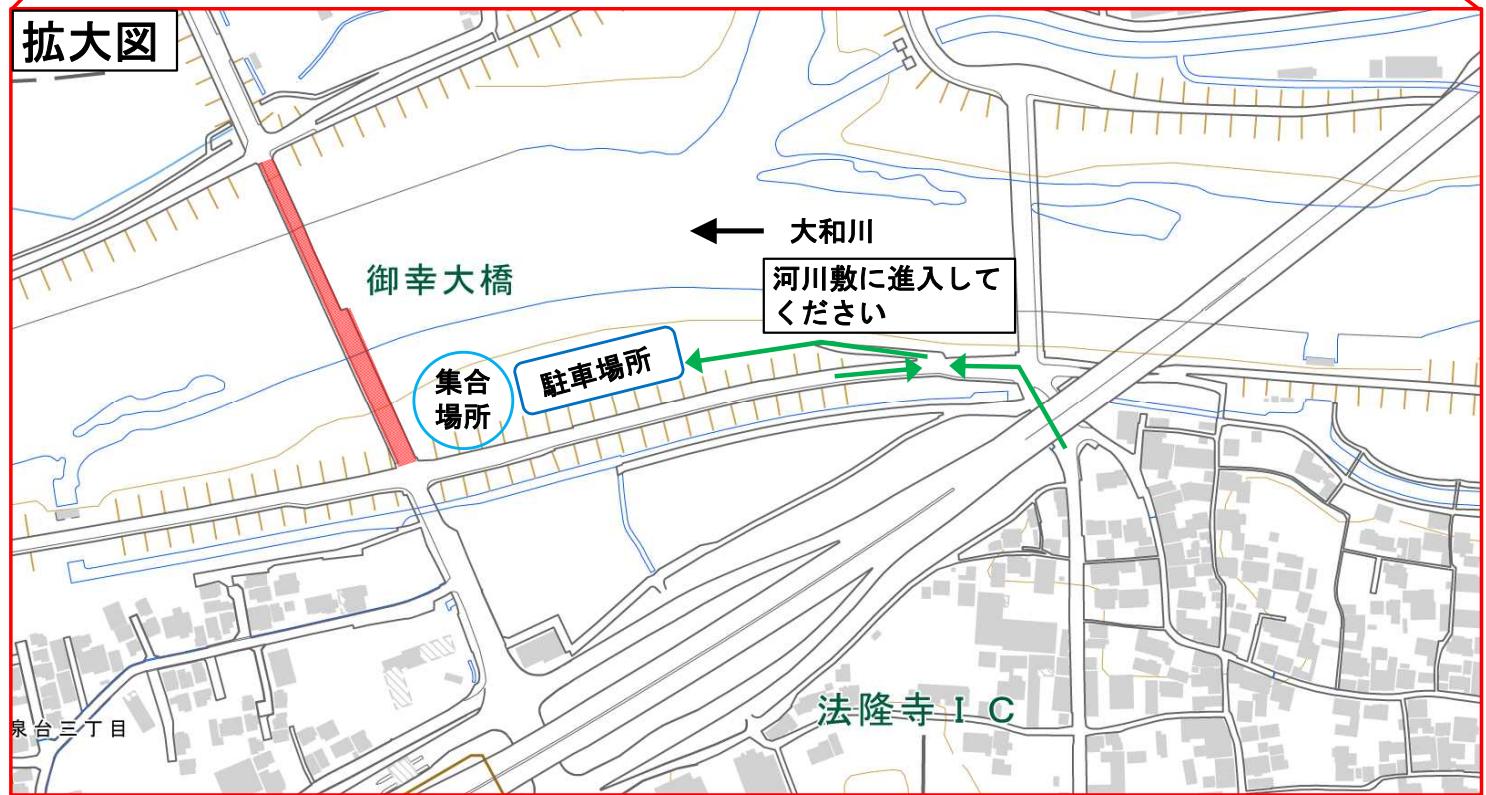
技術課長 石田 茂和 (いしだ しげかず)

【別添1】

位 置 図



拡大図



■出席者

- 第1部：河合町長、河合町職員、奈良県内自治体職員等、
近畿地方整備局道路部、近畿道路メンテナンスセンター、
奈良国道事務所
- 第2部：河合町職員、奈良県内自治体職員等、
近畿地方整備局道路部、近畿道路メンテナンスセンター、
奈良国道事務所

■使用する新技術

- ① 赤外線調査トータルサポートシステム J システム Evolution
- ② ドローンを活用した橋梁点検技術(ELIOS3)

■スケジュール

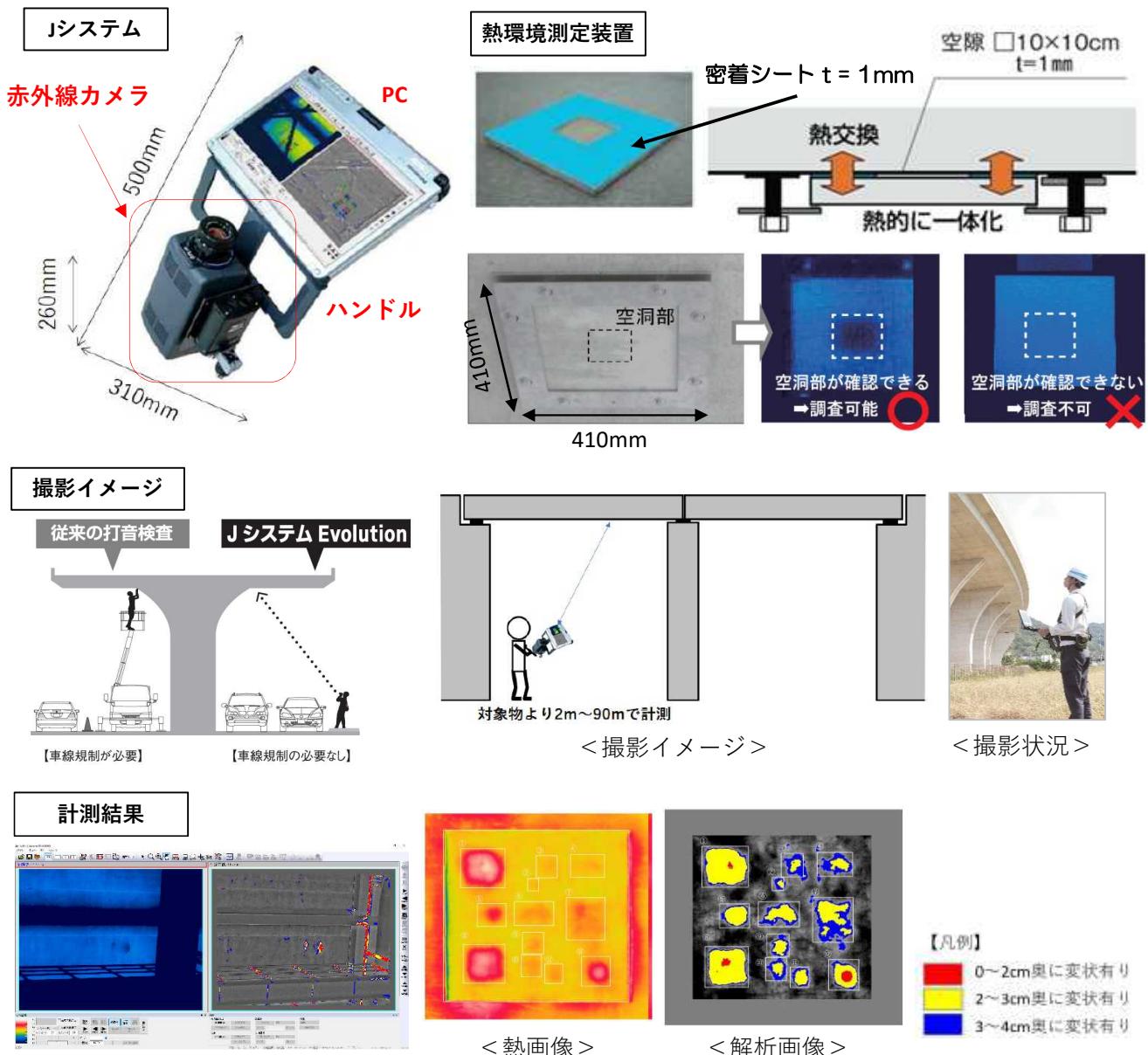
- 第1部 10:30～開会、挨拶
10:35～新技術概要説明及びデモ
10:55～新技術デモ感想(河合町長)
11:00～閉会、マスコミ取材
- 第2部 11:00～開会
11:05～新技術体験
11:30～意見交換
12:00　　閉会

■ 使用する新技術

技術①: 赤外線調査トータルサポートシステムJシステム Evolution

【技術概要】

本技術は、橋梁等のコンクリート構造物において、鉄筋腐食に伴い発生する剥離やうき（コンクリート内部の剥離ひびわれ）を、遠望非接触にて赤外線法により検出する技術です。



出典: 点検支援技術性能力タログ、技術の性能確認シート、製品パンフレット

【活用効果】

- ・第三者被害予防措置の1次スクリーニングとして活用することで、打音検査範囲の削減が期待できる。（外業効率の向上）
- ・人による打音検査よりもバラツキがなく、検出漏れ防止が期待できる。

【別添3】

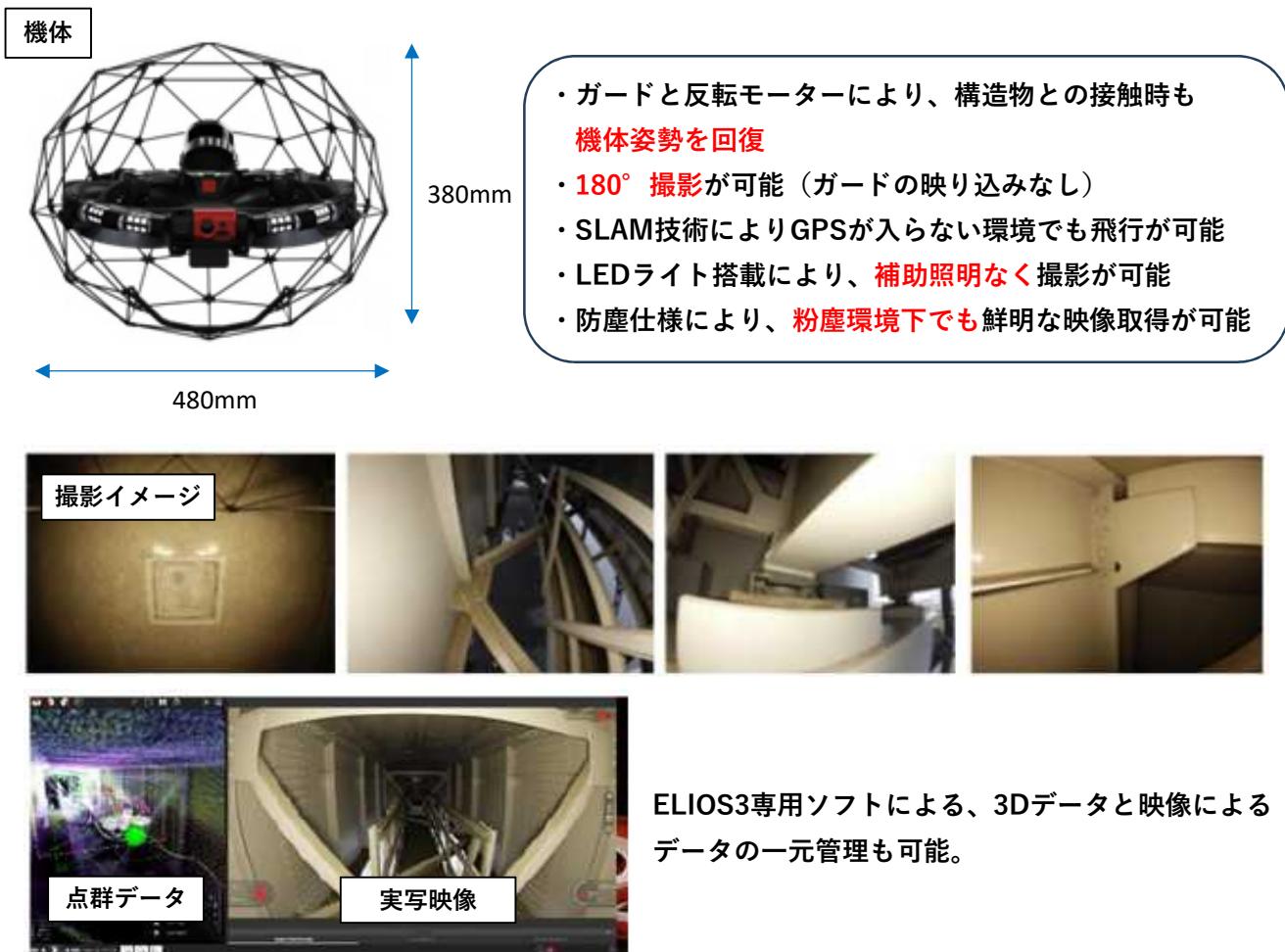
技術②: ドローンを活用した橋梁点検技術(ELIOS3)

【技術概要】

本技術は、ドローンに搭載したカメラで撮影した画像から損傷を把握する技術です。

カメラは上下180° チルト可能なため、正面、真上、真下の撮影が可能です。

また、ドローンは独自のSLAMエンジンにより、桁下等のGPSが入らない環境でも飛行が可能です。



出典: 点検支援技術性能力タログ、技術の性能確認シート

【活用効果】

・従来技術(橋梁点検車)と比べ、点検時の交通規制が不要となり、社会的影響を削減できる。

・従来技術(橋梁点検車)と比べ、現場作業時間の短縮が期待できる。

・従来技術(橋梁点検車)と比べ、高所での作業がなくなり、橋梁点検員の安全性が向上する。

点検支援技術の活用について

【別添4】

近畿道路メンテナンスセンター

点検支援技術は、橋梁やトンネルなどの道路構造物における定期点検の高度化・効率化を推進するため、国土交通省において積極的に活用している新技術です。近接目視では点検が困難であった箇所における代替の点検手段となったり、高所での点検作業に変わって活用することによる安全性の向上、点検の効率化などが期待できる技術です。



国土交通省では、点検に活用可能な技術を「点検支援技術性能力タログ」として策定し、直轄国道の点検における点検支援技術の活用を原則化することで、地方公共団体など他の道路管理者における新技術活用を促しています。

近畿地方整備局では、各府県道路メンテナンス会議と近畿道路メンテナンスセンターが、点検支援技術のデモンストレーションを共同開催することで、各道路管理者に新技術活用を促しています。



<令和7年度開催状況>

過去の点検支援技術デモンストレーションの開催状況は、近畿道路メンテナンスセンターHPに掲載しています。



▲近畿道路メンテナンスセンター HP

橋梁点検新技術のデモンストレーション

取材申込書

【電子メールによる申込】

送信先(メールアドレス): kkr-kp-kanr201@mlit.go.jp

①件名に【橋梁点検新技術のデモンストレーション】と記載してください。

②メール本文に下記事項を記載してください。

- ・貴社名
- ・ご担当者の氏名(ふりがな)
- ・ご連絡先(電話番号、FAX番号、メールアドレス)
- ・ご同行者の氏名(ふりがな)

【FAXによる申込】

下記の送信表に必要事項をご記入のうえ、本紙を送信してください。

<FAX> 0742-34-3453 (管理第二課)

奈良国道事務所 管理第二課 保全担当 宛

FAX送信表	
貴社名	
ご担当者	氏名(ふりがな)
ご連絡先	電話番号: FAX番号: メールアドレス:
ご同行者	氏名(ふりがな)

- ・複数名での取材を希望される場合は、全員分のお名前、連絡先をご記入ください。
- ・送り状は不要です。
- ・お手数をお掛けしますが、FAX送信後は受信確認のため、下記の[受信連絡先]までご連絡ください。

[受信連絡先]

奈良国道事務所 管理第二課 保全担当 TEL 0742-33-1394

・申込期限：令和8年2月3日(火)12時まで

・荒天等により中止する場合は、前日17時までにご連絡させていただきます。